

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 神奈川県 農政課
要望問題名 かながわ県産品の有利販売を促進する地域内流通の開発支援	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県では、消費者への直接販売の場として「大型農産物直売所」を整備することにより、地産地消の推進をすることができたが、生産者から直売所以外の量販店や飲食店等への直接販売に関しては、物流が課題となり、商談が成り立たないケースも多い。 販売ルートを持つ民間事業者が、集荷場所を設けて地域内流通に取り組む例もあるが、コスト低減を図るためには一定の物量が必要となることや、天候、生育状況による出荷量の変動も大きいことから、事業継続が困難となる事例もある。 一方で、通い箱を使い簡易な荷姿による地域内流通が可能になれば、環境への付加軽減や脱炭素を図ることも可能なことから、持続的で採算性の高い物流システムの実施に向けた研究課題の設定をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	物流の2024年問題によって、今後、荷主である生産者や実需者、消費者が求めるサービスを提供できなくなる可能性があり、喫緊の課題であると認識していますが、調査研究活動によって課題解決が図れるのか、実現可能な提案ができるのかなど試験研究課題化を検討します。 なお、令和5年度から実施している試験研究課題「脱炭素・低コスト生産技術等の確立」の中で、施設イチゴを対象にCO ₂ 削減効果の見える化と消費者購買意向の解明に取り組んでいます。イチゴでは、県内でも通い箱による出荷事例があることから、事例調査を行い、CO ₂ の排出量算出に取り組めます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			